

令和3年度事業報告

特定非営利活動法人 社会還元センターグループわ

I 事業報告

グループわ は令和2年度と同様に、ボランティア団体として高齢者、障がい者等の福祉の増進ならびに子どもたちの健全な育成を目指してボランティア活動を進めようとしてきましたが、新型コロナウイルス感染状況が継続し、活動の場や練習の成果発表の場の確保などを意図通りにはできませんでした。

まず、会員の確保の観点から、継続加入の維持と新期加入の増大に努めましたが、会員総数は、前年度比95%の1,225名にとどまりました。

令和2年度の公益団体運営事業の終了に伴う財政収支改善の一環であるグループわ 本部組織の効率的な再編および同年度に行った財政再建プロジェクトチームの提言を基本にグループわ の運営を行いました。結果としての収支バランスは2号議案にて報告いたします。

また、グループわ 定款の内容を現在の活動分野・活動状況に即した表現となるように見直しました。併せてグループわ 運営の内部規程・規則の見直し作業もスタートさせました。

広報は、“ぎやらりーわ”の発行を紙ベース、Webベースで年2回ずつ発行し、ホームページは、グループわ の本部活動や区会・部会の活動および基本情報を動画も含めて毎週更新し、グループわ の活動を積極的にPRしてまいりました。

学校園・学習支援活動は、神戸市シルバーカレッジとタイアップし、本年度も将来を担う子どもたちの健全な育成を重要課題として、小学校の要望にすべて応えるべく努めました。また活動支援者の集いを年3回開催し活動情報の共有化をはかるとともに専門家による講習会を実施しました。なお、神戸市のフレイルサポートは、こうべ市民福祉振興協会が業務委託先となりましたのでグループわ はフレイルチェックを希望する区会員の連絡業務を行いました。

日常活動では、グループわ の特徴を生かして、長年培われた豊富な経験と蓄積された知識をベースにして、区会を中心とした地域振興や、福祉、国際、環境、文化、いきがいの分野での活動をできる範囲で行いました。特に区会の地域活動については、神戸市シルバーカレッジの地域交流会の学生と協働するように努めました。

こうべ市民福祉振興協会との関係では、しあわせの村において感染防止対策をした上で夏秋のこども向けイベントを開催し、ユニバーサルフェスタにも参加、しあわせの村健康倶楽部への支援協力を行いました。更に、障がい者を対象としたユニバーサルカレッジの運営補助および世代間交流授業への参加をグループわ として全面的に協力しました。

神戸市シルバーカレッジとの関係では、長年分担執筆を行っていたシルバーカレッジ学長を編著者とする「シニア世代の学びを社会に活かす～神戸市シルバーカレッジでの学習と社会貢献」の書籍が発行され、その著作権料に相当する本が服部学長よりグループわ に寄贈されました。

又、オープンカレッジ、学校説明会、各種販売支援等への協力を行いました。

具体的な区会・部会活動については、別添の事業報告書に詳細を示させていただきます。

下記は、活動内容等を項目別に記載しております。

1. 定款変更について

これまでの定款変更においては、変更対象の条文のみを改訂していましたが、「特定非営利活動促進法」（以下、法律という）との表記整合性が合わない箇所もあり、定款の全条項を見直すこととして、本部内に定款変更検討会を設け、9月～12月の間で検討を重ね、変更案を取りまとめました。

取りまとめた内容については1月度理事会で承認され、本年開催の第19回総会に諮ることになりました。定款変更のポイントは以下のとおりです。

- 1) 第3条(目的)：グループわの活動の多様化に対応して条文表現を簡略化し柔軟性を持たせました。
- 2) 第5条(事業)：現在の活動実態と整合性が取れるように活動対象の表記を改めました。
- 3) 第9条(会員の資格の喪失)：第3号に関して次年度会費納入期限を「前年度3月末」と明記しました。
- 4) 第16条(任期等)：定期総会を跨いだ理事の任期に関する規定を明確化しました。
- 5) 第51条(定款の変更)：法律改正に対応して定款変更対象項目を明記しました。
- 6) 他の条項は概ね法律用語に合わせた条文に置き換えました。

2. 会員の確保

(1) 会員数

	令和2年度会員数	令和3年度会員数
最終会員数	1,292名	1,225名
内継続会員	1,198名	1,090名
内新入会員	94名	135名

(2) 会員の親睦行事

グラウンドゴルフ・野鳥観察会を区部会と連携して実施し、会員相互の親睦及びコミュニケーションを高めるように努めました。

実施日	イベント名	参加人数	参加者等
10月3日(日)	野鳥観察会	36名	小学生低学年・一般
11月27日(土)	グラウンドゴルフ	43名	グループわ 会員・一般

(3) 実用講座の充実

神戸市シルバーカレッジとの協賛行事として例年1月に実施のKSC第2回ジョイラックデーにおいて、会員相互のスキルアップを目指して実用講座を計画していましたが、コロナ禍の影響で実施できませんでした。

(4) 個人ボランティア登録

グループわ に依頼を受けるボランティア活動のなかには、現在登録のボランティアグループにお願いするのが難しい分野の依頼があり、会員の皆様が個人的に持っている豊富な経験と蓄積された知識をベースにした特技を登録していただき、皆様の活動場所の提供拡大や要請依頼があった時に対応できるよう「個人ボランティア登録」システムを構築しています。

前年度までの登録件数	40件
今年度の登録件数	12件
計	52件

1人で複数の分野に登録して下さる方もあり、この情報を有効活用していきたいと思います。

3. 新規事業の展開

(1) 学校園ボランティア等派遣コーディネート業務

子どもたちが学ぶ学校園（小中学校・幼稚園）を広く支援し、かつグループわ の活動資金獲得を目的として神戸市教育委員会から学校園ボランティア等派遣コーディネート業務を受託しました。ボランティア内容としては従来の学習支援に加えて作品展、運動会、授業参観等の行事支援、花壇・学習園の環境整備、飼育動物の世話、図書室の環境整備等を実施しました。

実施にあたってはダイレクトメールやホームページ等からボランティアを募集しました。現在約200名の方がボランティア登録しています。

5月に区会への説明会を実施、各区会の協力を得て学校園からの要請に対してボランティアのマッチングを行っています。

学校園ボランティア活動実績

支援内容	学校園数	活動日数	延活動人数
行事・特別活動等への支援	19	33	166
学校環境整備	23	236	272
学習支援	66	2269	2322
計	108	2538	2760

・行事への支援はボランティア派遣の準備を行ったものの新型コロナウイルスの影響で多数の行事が中止または延期になりました。

(2) KOBEしあわせの村ユニバーサルカレッジの運営業務

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会は、学校を卒業した知的障がいを持つ青年たちの生涯学習の場「KOBEしあわせの村ユニバーサルカレッジ」を設置しました。神戸市シルバーカレッジ校舎を会場にして、今年度は軽度の知的障がいを持つ18歳から30歳の青年たち約30名（通年受講者27名）が、年間6回の講義を受講し部活動に取り組みました。

グループわ はこの事業の運営補助業務等を受託し、そのスムーズな運営に協力しました。また

KSCマジッククラブとわらい届け隊が、2回の世代間交流授業を行いました。

7月24日(土) 開講式 第1回講義	午前：開講式 講義①「異文化を学ぶ」 午後：マジッククラブによる世代間交流授業	受講生 24名 グループわ 本部 10名 KSCマジッククラブ 10名
9月11日(土) 第2回講義	午前：講義①「化石のレプリカを作って標本にしてみよう」 講義②「王子動物園再発見」 午後：部活動(ダンス、卓球、ボクシングフィットネス、テニス、スポーツ)	受講生 25名 グループわ 本部 8名
10月16日(土) 第3回講義	午前：講義①「日本の鉄道-阪急・阪神電車の歴史」 講義②「川重の作る未来：水素運搬船、新幹線&バイク」 午後：部活動(ダンス、卓球、ボクシングフィットネス、テニス、スポーツ)	受講生 26名 グループわ 本部 9名
11月6日(土) 第4回講義	午前：講義①「調理を通じて学ぶインド文化」 講義②「調理実習と昼食」 午後：部活動(ダンス、卓球、ボクシングフィットネス、テニス、スポーツ)	受講生 26名 グループわ 本部 6名
12月18日(土) 第5回講義	午前：講義①「写真の魅力」 講義②「ダンスを楽しもう：コンテンポラリーダンスで自己表現」 午後：わらい届け隊による世代間交流授業	受講生 24名 グループわ 本部 12名 わらい届け隊 14名
2月12日(土) 第6回講義 閉講式	午前：講義①「神戸の歴史と文化一源平合戦と福原遷都」 ：閉講式	受講生 21名 グループわ 本部 13名

(3) 区子連、区老連の事務業務

各区に設置されている区子連や区老連の組織では、総会開催等で集中的に事務処理が必要となります。昨年度、グループわ に対し、神戸市よりこの業務への協力打診がありましたが両者の条件が合わず実現しませんでした。今年度は個別具体的な依頼に対応し、各区組織からの依頼が続いた場合も可能な限り対応するように取り組みましたが、最終的には実現しませんでした。

(4) その他

しあわせの村健康倶楽部への会員確保・運営協力を行いました。

4. 広報活動

広報活動は、グループわ のさらなる活性化と組織拡大を目的として、各部会・区会・本部の諸活動を組織内外に伝えています。その媒体として、下記の取組を進めました。

① ぎやらりわ の発行

例年は4回/年間発行していましたが、昨年度より、経費節減のため、会員の自宅宛て郵送は、6月1月の年2回発行とし、その他にネット版を2回発行としました。また、今年度より経費節減のため、広告の掲載を始めました。

② WEB サイト (ホームページ)

WEB サイトは、よりタイムリーに活動の情報を伝える場として活用を進めています。今年も下記のように記事の追加更新を行いました。又、昨年度よりCMS (コンテンツマネジメントシステム) の一

つであるWordPress を使用したWEB サイトを運営し、写真、動画を活用し、より見やすく楽しいWEB サイトとなるよう努めました。併せて1 週間に1 回追加更新した内容を運営委員の皆様へ確認をお願いするとともに「部会所属グループ代表」への周知配信、情報共有化に努めました。

WEB サイト更新件数

2022/3/31 現在

	令和2 年度 上期	令和2 年度 下期	令和3 年度 上期	令和3 年度 下期
追加更新件数	63	99	103	108

WEB サイト閲覧回数(集計方法：google アナリティクス：ページビュー) 2022/3/31 現在

	令和2 年度 上期	令和2 年度 下期	令和3 年度 上期	令和3 年度 下期
HP 閲覧回数	51,730	34,814	32,410	33,689

(令和2年度上期は、報道による影響を含みます)

③ 動画の作成

シルバーカレッジの授業のON LINE化に対応し、グループわ の紹介動画(1 時間)を作成しました。

④ SNS(Facebook、Twitter、Instagram) を活用した、情報発信を開始しました。

⑤ その他

- ・総会等の事務の効率化を推進しました。
- ・事務所パソコンのwindows11への対応を推進しました。

5. 子どもたちの健全育成

(1) 学習支援活動の継続

将来を担う子どもたちの健全育成に寄与することを目的に、特別支援、教科指導補助、戦争体験と平和学習、昔の遊び、昔の暮らし体験学習、新聞作り学習、読み聞かせ、放課後支援、パソコン指導などの幅広い学習支援を進めています。

小学校からの要請に対応するため、区会・部会と連携して随時、幅広くボランティアの募集を行っています。

今年度は4月20日「学習支援者説明会」を開催、参加者は26名でした。

7月20日「学習支援研修会」を開催、教育委員会特別支援課指導主事水金稔氏の講演「支援ボランティアの在り方」に参加者45名が耳を傾けました。

又、12月24日開催の「学校園ボランティア支援者の集い」には48名が参加。

3名の支援者が実体験を語り、参加者からの質疑応答にも答えていただきました。

	項 目	学 校 数	実 施 日
1	特別支援、教科指導補助、 放課後支援、パソコン指導	66 校	随時
2	戦争体験と平和学習	10 校	2 学期に実施
3	昔の遊び・昔の暮らし体験学習	4 校	1 2 月～2 月実施

(2) 自然環境体験教室の展開

「花実の森整備プロジェクト」と「ケナフの会」は市内小学校の「自然環境体験学習」として、「カブトムシの観察」と「ケナフの畑見学、紙漉き」を実施してきました。令和3年度の活動は感染防止対策を徹底し下記の通り実施しました。今年度も例年同様に、小学校に対する広報で参加校の拡大を図り、こうべ市民福祉振興協会の協力を得ながら、しあわせの村を利用した各種の自然環境体験教室の開催を実施しました。

	項目	実施予定日	参加者数
①	花実の森	8月のみ講義実施	25名
②	ケナフの会	夏休み工作塾も含め7回実施	累計51名

(3) こべっこランド受託業務

本事業は、神戸市総合児童センター移転作業により、令和3年度は中止となりました。

6. 国際会議関連支援

国際コンベンションセンターからの委託事業として、国際会議のワークショップの時間に日本の伝統文化（茶道・書道・華道・着付け等）を紹介して、日本への理解を深める活動を支援していますが、新型コロナウイルス感染拡大のため、当面中止となっています。

7. フレイルサポーター(市民サポーターによるフレイルチェック会)活動

フレイルサポーター活動は神戸市の方針と指導に基づいて、今年度より、グループわの福祉部会所属の神戸市フレイル予防サポーターとして活動しています。

昨年度予定していながら、コロナのために延期されていた須磨区会、垂水区会、長田区会のフレイルチェック会を今年度行いました。（下記表参照）

4月23日(金)	須磨区会フレイルチェック会 8名参加	須磨区文化センター
6月30日(水)	垂水区会フレイルチェック会 10名参加	垂水区文化センター
7月22日(火)	長田区会フレイルチェック会 10名参加	神戸市防災コミュニティセンター

これで区会でのフレイルチェック会は終了となりました。神戸市は、今年度から広く市民に呼びかけ、月一回のペースでフレイルチェック会を各区で開催することにしましたので、グループわの会員も積極的に参加しました。

8. 学長編著者本の発行

服部祥子学長を編著者とする「シニア世代の学びを社会に活かす～神戸市シルバーカレッジでの学習と社会貢献」（四六判 220頁）のタイトルで2022年1月30日にミネルヴァ書房より発刊されました。

グループわも全3部構成の第3部を分担執筆しております。

分担内容は以下のとおりです。

第3部「学び」を「他のために」役立てる

第7章 学生・卒業生と支援現場をつなぐ取り組み

—「特定非営利活動法人社会還元センターグループわ」によるコーディネート

第8章 人・社会を支える卒業生 — 「私たちのため」 = 「社会のため」

9. しあわせの村事業の展開

こうべ市民福祉振興協会との共催事業は、例年通りしあわせの村を舞台として、活動を行いましたが、新型コロナウイルス流行のため一部イベントが中止となりました。

実施日	イベント名	参加人数	参加グループ(略称)	備考
令和3年 5月5日(火)	わいわいストリート			緊急事態宣言発令により中止
7月25日(土)	しあわせの村まつり			延期 担当者会議2回開催 具体的な内容、日程検討予定
8月7日(土)	夏休み工作塾	124名 小学生	花実の森・むかしあそび・ケナフ・木工・里山G・創エネ神戸・折り紙G悠々・救急ボランティア・本部	コロナ感染防止のため、事前予約制で人数制限、3密回避を施し実施。
10月30日(土)	ビバ！ハロウィン 「こべっこひろば」	こども 705名 保護者 604名 スタッフ 156名 計 1,465名	すみれ、銀雅、ゆめのつづき、わらい届け隊、うらしまたろう、むかしあそび、ケナフ、木工、マジック、お話し糸車、救急ボランティア、本部	コロナ感染防止のため、人数制限(午前300名、午後400名)、3密回避を施し実施。
令和4年 3月12日(土)	こうべユニバーサル フェスタ		輪投、ターゲットボール	

10. 「須磨一ノ谷プラザ」管理運営

- ①コロナ禍における緊急事態宣言が4月25日～6月20日、8月20日～9月30日と2度にわたり発出され、上期6か月間の内、稼働できた日数は僅か45%の70日でした。10月1日より平常の運営となりましたが、積極的な利用拡大・促進の活動はほとんど出来ていなく、収益は低迷しています。
- ②ローテーション会議の案内及び当番表の連絡等は電子メールでの配信を主とし、紙媒体での郵送は原則廃止としました。
- ③管理運営スタッフへの活動報酬の支払い方法に関して、銀行振込へ移行すべく9月のローテーション会議で趣旨説明を行い、12月度の支払い分より銀行振込に変更しました。
- ④新人研修を実施後、理事4名、会員1名の計5名が新たにローテーション入りし、出務当番に就いています。
- ⑤須磨一ノ谷プラザの今後の活用策について、神戸市によるサウンディング型市場調査が8月に始まり、民間事業の意見や新たな提案を採り入れることで、建て替え等を含めた事業検討を進展させていくとの方針が発表されました。実施結果の概要公表は11月上旬に予定されていましたが、3月末日時点では公表に至っていません。今後の動静に注視していきます。

1 1. 「パソコン講座」の継続

神戸市シルバーカレッジの学生・卒業生をはじめ一般の方を対象に「パソコン何でもお好み塾」をふたば学舎で継続実施し、マンツーマン方式の個別指導を進めました。

項目	実施日	実施回数	受講者数	講師数
何でもお好み塾	毎週金曜日	44回	115名	152名
パソコン体験教室	1月24日(月) 1月27日(木)	2回	18名	17名

注1) 新型コロナウイルス感染に伴う緊急事態宣言により5月は中止、6月より開講しました。

注2) 例年、夏休み中にシルバーカレッジで実施しているパソコン体験教室は、まん延防止等重点措置発令中のため1月に延長し、実施しました。

1 2. プログラミング支援

- ・毎月2回講師勉強会を実施しました。場所は新長田の神戸生活創造センターです。コロナ騒動が落ち着かないと「プログラム体験講座」は実施できませんが、2022年には落ち着くだろうと、講師勉強会は続けています。
- ・コロナ騒動のため、2021年に計画した下記の計画は実施できませんでした。
 - 1、児童館でのプログラム体験講座
 - 2、流通科学大学 大学祭でのプログラム体験講座
- ・いくつかの児童館に「プログラム体験講座」に興味があるか聞いたところ、確認した全ての児童館から「興味がある、コロナ騒動が落ち着けば実施したい」という返事をいただきました。
- ・ニーズに合っていると思われるが、コロナ騒動次第で、先は全く不明。
- ・児童館以外に「市民図書室」(学校施設開放事業)で「プログラム体験講座をしてみませんか」という相談も行っています。
- ・これもコロナの状況次第で、先は全く不明です。
- ・2021年7月31日に神戸生活創造センターで「夏休みプログラム体験講座」を実施した、参加者は8名。これは神戸生活創造センターの夏休みイベントとして開催したもので、告知・集客は神戸生活創造センターが行いました。

1 3. 業務の効率化

出納業務の合理化と現金扱いのリスク低減のため、これまで現金支払いだった処理を、ゆうちょ銀行の振込システム(ゆうちょBiz)を利用し、定例的な活動交通費を振込化することにしました。

(1) 本年度実施済の振込事業部門と対象

- ・本社内理事・監事の交通費
- ・学校園活動従事者の交通費
- ・須磨パティオお買い物サポーターの活動費・交通費
- ・一ノ谷プラザの活動費・交通費
- ・パソコン教室の活動費・交通費

(2) 次年度実施予定の振込化対象

- ・運営委員会出席の交通費
- ・区会・部会の助成金
- ・各イベント参加団体・スタッフの交通費、材料費精算
- ・各活動に対する保険料

(3) 振込化推進による効果

前項までの出納業務を振込化することで、以下の効果が実現できます。

- ・事務工数の削減,既に振込化した実績により、交通費等の個人宛支払いに対する金額・金種の準備する手間が大幅に省けます。
- ・所定支払日にはシステムによる一斉振込のため、支払い当日の不在者にも同日に振込が完了し、支払日を事前設定することで、当日の概ね午前 8 時に口座入金されます。
- ・支払日前日において、支払金額を銀行からの引き出し～持ち帰り・保管という、現金取り扱いリスクが削減できました。
- ・今後、事務工数の削減により、当該業務要員の削減が期待できます。

令和3年度 計算書類 [決算報告および監査報告]

令和3年4月1日から令和4年3月31日

単位：円

科目	金額		
(正味財産増減計算)			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費・入会金			
受取会費	1,839,000		
受取会費・入会金合計		1,839,000	
受取寄付金			
受取寄付金	535,545		
受取寄付金合計		535,545	
受取助成金等			
受取民間助成金	300,000		
受取助成金等合計		300,000	
事業収益			
受託料収益	8,116,013		
参加料収益	83,500		
受講料収益	168,000		
販売収益	260,440		
事業収益合計		8,627,953	
その他収益			
受取利息	112		
雑収益	143,865		
その他収益合計		143,977	
経常収益合計			11,446,475
(2)経常費用			
事業費			
仕入高	138,408		
活動報酬	1,131,060		
旅費交通費	2,093,760		
通信運搬費	165,357		
材料費	693,194		
消耗品費	101,395		
消耗備品費	272,241		
印刷製本費	145,794		
水道光熱費	501,202		
賃借料	35,100		
保険料	479,780		
租税公課	10,000		
支払助成金	669,000		
業務委託費	28,290		
雑費	70,868		
事業費合計		6,535,449	
管理費			
活動報酬	230,000		
旅費交通費	1,031,120		
通信運搬費	251,661		
消耗品費	276,231		
消耗備品費	127,219		
印刷製本費	138,613		

科目	金額	科目	金額
地代家賃	302,640		
保険料	2,400		
諸会費	1,000		
租税公課	106,815		
支払手数料	45,004		
システム利用費	268,071		
雑費	357,408		
減価償却費	510,009		
管理費合計		3,648,191	
経常費用計			10,183,640
当期経常増減額			1,262,835
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計			0
(2)経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			1,262,835
法人税、住民税及び事業税	72,000		
当期正味財産増減額			1,190,835
前期繰越正味財産額			16,581,144
次期繰越正味財産額			17,771,979

貸借対照表 令和4年3月31日現在

単位：円

I 資産の部		II 負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
現金預金		未払費用	832,277
現金	288,882	前受金	1,629,300
当座預金	2,736,524	仮受金	19,310
普通預金	11,297,066	流動負債合計	2,480,887
現金預金合計	14,322,472	2.固定負債	
他の流動資産		固定負債合計	0
未収金	3,834,652	負債合計	2,480,887
棚卸資産	117,384	Ⅲ 正味財産の部	
前払費用	559,220	前期繰越正味財産	16,581,144
仮払金	25,000	当期正味財産増減額	1,190,835
他の流動資産合計	4,536,256	正味財産合計	17,771,979
流動資産合計	18,858,728		
2.固定資産			
有形固定資産			
什器備品	1,394,138		
有形固定資産合計	1,394,138		
無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
投資その他の資産			
投資その他の資産合計	0		
固定資産合計	1,394,138		
資産合計	20,252,866	負債正味財産合計	20,252,866

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2017年12月12日最終改正、NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理処理によっています。

2. 事業費の内訳

令和3年度活動計算書 事業費内訳表 2021年4月1日～2022年3月31日

単位：千円

科目	公益団体 運営支援事業	イベント 活動事業	PC指導 事業	区会活 動事業	部会活 動事業	ボランティア 啓発事業	合計
活動報酬	1,017	34	80	0	0	0	1,131
旅費交通費	1,248	761	82	2	0	1	2,094
通信運搬費	32	2	0	0	0	131	165
材料費	25	669	0	0	0	0	694
消耗品費	81	17	4	0	0	0	101
消耗備品費	272	0	0	0	0	0	272
印刷製本費	77	0	0	0	0	69	146
水道光熱費	501	0	0	0	0	0	501
賃借料	0	0	35	0	0	0	35
保険料	14	2	0	0	0	464	480
租税公課	10	0	0	0	0	0	10
支払助成金	180	0	0	240	248	0	669
業務委託費	0	28	0	0	0	0	28
雑費	5	0	0	0	0	66	71
仕入れ高	0	138	0	0	0	0	138
事業費計	3,462	1,651	201	242	248	731	6,535

3. 固定資産の増減の内訳

単位：円

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器備品	2,995,760	1,749,972	0	4,745,732	3,351,594	1,394,138

4. その他NPO法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

グループわの今年度の収益は、神戸市学校園・学習支援活動、こうべ市民福祉振興協会の支援協力等で活動の場の拡大により収益が増加しました。他方、経費面では前年度の赤字決算を受けて財政再建に取り組み、本部管理費の圧縮、区会・部会の協力をいただきながら経費削減を推し進めました。その結果黒字に転換することができました。

今後も引き続き財政再建に取り組みながら、グループわの組織と活動が更に発展できるよう、関係諸団体のご支援・ご協力を得ながら活発な活動を進めてまいります。

財産目録

2022年3月31日現在

単位：円

貸借対照表科目		内容	金額	
(流動資産)				
現金預金	現金	本部現金	288,882	288,882
	当座預金	ゆうちょ銀行	2,736,524	
	普通預金	三井住友銀行 みなと銀行	3,409,702 7,887,364	14,033,590
他の流動資産	未収金	神戸市学校園受託料	2,871,000	
		イベント受託料他	963,652	3,834,652
	棚卸資産	販売書籍在庫分	117,384	117,384
	前払費用	令和4年度ボランティア保険料	526,000	
		4・5月分ふたば教室使用料他	33,220	559,220
	仮払金	須磨一ノ谷釣銭準備金 パソコン教室釣銭準備金	20,000 5,000	25,000
流動資産計				18,858,728
(固定資産)				
有形固定資産	什器備品	複合コピー機、書庫他	1,394,138	1,394,138
無形固定資産				
投資その他の資産			0	0
固定資産合計				1,394,138
資産合計				20,252,866
(流動負債)				
	未払費用	3月分交通費、光熱費他	726,477	
		令和3年度消費税納付予定額	105,800	832,277
	前受金	令和4年度わ年会費他	1,629,300	1,629,300
	仮受金	仮受保留金	19,310	19,310
流動負債合計				2,480,887
負債合計				2,480,887
正味財産合計				17,771,979

監査報告

令和3年度決算書および関係書類等について監査したところ、いずれも適正であると認めます。

令和4年4月12日

監事 大槻隆文 ㊟

監事 浜田哲夫 ㊟